

東京都八丈町勢要覧
HACHIJO 2013

 はちじょう 2013



目次 CONTENTS

- 3 黒潮に浮かぶ島・八丈島
- 5 花と緑と温泉の島
- 7 心と体を癒やす地球の恵み 温泉
- 9 歴史と文化を生かす町
- 11 クリーンアイランドを目指す町
- 15 海洋を生かす町
- 16 住民が主役の町
- 17 みどり豊かな町
- 18 あたたかい町・文化の香り高い町
- 19 いきいきとした町
- 20 明るい町
- 21 島への交通
- 22 町のシンボル
- 23 交流
- 24 主なできごと 2013
- 25 八丈島 三つの始祖伝説
- 26 町民憲章



多目的ホール「おじゃれ」



新庁舎執務空間



三原山より



八丈富士



藍ヶ江

HACHIJOJIMA, AN ISLAND AFLOAT ON THE KUROSHIO (BLACK CURRENT)

Hachijo-jima is located in the Pacific Ocean 287km south of Tokyo. It is a gourd-shaped island with an area of 69.52km². It is a volcanic island belonging to the Fuji volcanic zone, consisting of Mt. Mihara(700.9m) in the southeast and Hachijo Fuji(854.3m) in the northwest. The town is divided into "Sakaue" and "Sakashita" areas, with Sakaue encircling Mt. Mihara and containing the Kashitate, Nakanogo, and Sueyoshi communities, while Sakashita is the economic hub of the island, including the communities of Okago and Mitsune.

Hachijo Kojima, a small volcanic island, lies 7.5km northwest of Hachijo-jima. With Mt. Taihei(616.8m) in its center, it has an area of 3.1km² and a circumference of 8.7km. All residents were relocated from the island in June 1969, and it remains uninhabited.

Bathed by the warm Kuroshio (the Black / Japan Current), Hachijo-jima boasts an average annual temperature of 17.8°C. The climate is characterized

by high temperatures, high humidity, and abundant in precipitation. The population is slowly decreasing, with census figures showing 11,818 peoples in 1960 ; 11,315 in 1965 ; 10,326 in 1970 ; 10,318 in 1975 ; 10,244 in 1980 ; 10,024 in 1985 ; 9,420 in 1990 ; 9,476 in 1995 ; 9,488 in 2000 ; 8,837 in 2005 ; 8,231 in 2010.

Main industries are agriculture (horticulture) and coastal fishing. Local businesses produce Shochu (distilled spirits), Kusaya, and Kihachijo (silk) woven handicrafts. Various kinds of service enterprises that are related to the tourism, are also central of the island's economy.

花と緑と 温泉の島

THE ISLAND OF FLOWER AND GREEN,
HOTSPRING WATER



イソギク



ブラシノキ



ブーゲンビリア



ツワブキ



アガパンサス



アロエ園



ストレチア



フリージア



フリージア



フリージア畑

島を原色に彩る四季の花々



硫黄滝



大滝



苔



明日葉の森



あしたば



ソテツ



苔



三原山中

全ての生き物にやさしい緑の楽園

心と体を癒やす地球の恵み 温泉

温泉MAP

A 檜立向里温泉 ~ふれあいの湯~



B 中之郷温泉 ~やすらぎの湯~



F 末吉温泉 ~みはらしの湯~





C ブルーポート・スパ ザ・BOON



D 中之郷尾越温泉 ~裏見ヶ滝温泉~



足湯きらめき

E



洞輪沢温泉

G



歴史と文化を 生かす町



八丈太鼓(ふるさと村)



歴史民俗資料館



黄八丈



黄八丈

八丈太鼓や黄八丈に限らず、この島の各地に残る遺跡、伝承されてきた歴史、そして有形無形の文化はすべて私たちのかけがえない財産です。歴史と文化を探求すればするほど、島の貴重な財産としての価値がいっそう高まり、これを生かすことが、必ず「地方の時代」における島の発展につながります。



ふるさと村



宇喜多秀家像



樽立踊り



島酒の碑



玉石垣

クリーンアイランドを目指す町

～クリーンエネルギーのモデル島を目指して～



八丈島地熱利用農産物直売所
「えこ・あぐりまーと」

八丈島地熱発電所

八丈島地熱館

時には八丈島に過酷なほどに
大きな被害をもたらす強大な自然エネルギーは
技術革新によって、
今やこの島に無限の恩恵をもたらす可能性を秘めています。

八丈島地熱発電所

全国離島初、しかも東京電力（株）としても初めての地熱発電所が平成 11 年 3 月に運転を開始しました。地熱発電は出力を変化させることが難しいため、ベース電源（3,300kw）として運転を行い、八丈島の電力需要に合わせて既存のディーゼル発電機を追加運転させています。また、発電所からの熱供給を受ける農業用省エネルギーモデル温室団地は農業振興に寄与しています。

Tokyo Electric Power Company : Hachijo-jima Geothermal Generator Site

In March 1999, for the first time on all remote island in Japan, let alone for Tokyo Electric Power Company, a geothermal generator was put into operation in Hachijo-jima. Since converting subterranean heat into electricity is difficult, the site will use 3300kw as a base in conjunction with an existing diesel generator to supply the electrical needs of the entire Hachijo-jima. Besides, the heat from the power plant is provided for the energy-saving greenhouses located near by the plant.

These greenhouses contribute to the development of the agriculture in Hachijo-town.



八丈島地熱館

平成25年8月よりリニューアルオープンしました。

地熱発電所の敷地内にあり、地熱発電の仕組みにくわえ火山活動に伴う八丈島の成り立ちやその魅力を、映像や体験コーナーを通して知ることができます。

住民の環境学習の場としてはもちろん、観光施設としても親しまれています。



クリーンアイランドを目指す町

～農業用省エネルギーモデル温室団地～





地熱利用

地熱発電所で発生する熱は農業にも利用されます。八丈島地熱発電所では、生産井から熱水が出ないため、熱供給の熱源はタービンを回した蒸気を凝縮した約 40℃程度の温水を使います。熱交換器で温室団地へ送られ、冬場の加温に使われます。平成 11 年度には省エネルギーモデル展示ハウス「えこ・あぐりまーと」も建設されました。

石油資源の枯渇や地球環境問題が盛んに取り上げられている昨今ですが、八丈町では新エネルギー産業技術総合開発機構 (NEDO) を誘致して行われた「地熱開発促進調査」(平成元年～3年)をはじめ、「クリーンエネルギーのモデル島を目指して」をキーワードとしてクリーンエネルギーへの取り組みを実施しています。

Lately, the issues of fossil fuel exhaustion and the destruction of the environment have gained more notoriety. However, in the town of Hachijo, the New Energy Industrial Technical Collective island and conducted the "Geothermal Development Promotion Survey" in 1989 till 1991. Using that as a basis, the NEDO made "Aiming to be the Model Island of Clean Energy" a key phrase, and are testing clean energy methods that are currently available.

海洋を生かす町

八丈島の先人たちは古くから広大な太平洋の領域に雄飛し、
その海は私たちに豊かな恵みを与えてきました。
海洋の活用をさらに推し進め、島の経済の活性化を目指します。



神湊漁港



キンメダイ



カツオ



ウミガメ

住民が主役の町

～心と心がふれあう町～

「住民が中心になり、住民の力に基づき、住民の願いを実現する。」
住民主役の町づくりを目指します。



町民体育大会



浜遊び



八丈町消防団



夏まつり

みどり豊かな町

～豊かな自然に包まれた快適生活空間～

自然環境を大切に守り、クリーンアイランドを念頭に、生活文化、教育、社会福祉、産業等の基盤整備を進め、自然と調和したみどり豊かな町づくりを目指します。

大潟浦園地



フリージアまつり



親水公園



ふれあい牧場



ふれあい牧場



キョン



都道

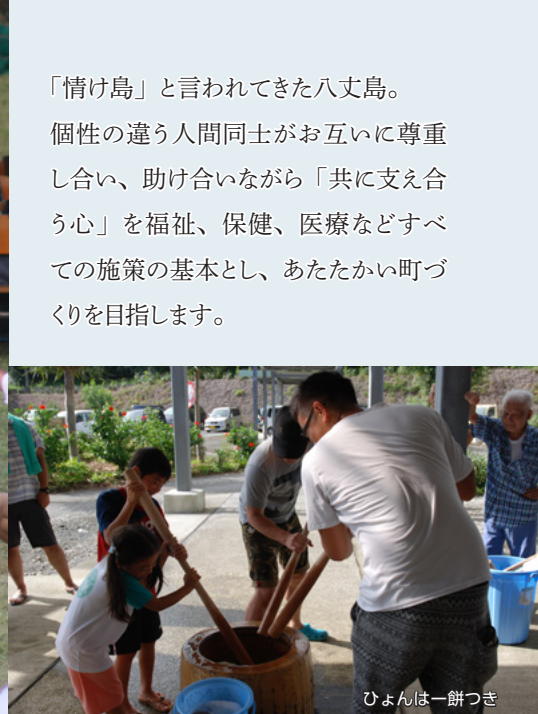


大潟浦園地



あたたかい町

小学校運動会



ひよんは一餅つき



町立八丈病院



スポーツ祭東京「ふれあいフットサル」



町民体育大会

文化の香り高い町

生涯学習社会の実現を図るため、学校教育、社会教育の振興に努め、文化の香り高い町づくりを目指します。



歴史民俗資料館



文化フェスティバル



凧揚げ大会



島ことば教室



島ことばかるた大会



島ことばかるた

いきいきとした町

産業を振興して地域経済を活性化していくことは、最も重要な課題です。
産業基盤の確立を図り、働くことに喜びのあるいきいきとした町づくりを目指します。



ふれあい牧場



田植え

収穫祭



パッションフルーツ



黄八丈製品



産業祭



焼酎



産業祭

明るい町

住民の町政参加を積極的に展開し、住民と行政が一体となって地域の発展に取り組む明るい町づくりを目指します。



スポーツ祭東京「高等学校野球(軟式)」



ゆりーと



スポーツ祭東京



自治振興委員の集い



八丈町表彰式



議会



防災訓練

島への交通

GETTING TO HACHIJOU



八丈島への空路は、東京・羽田空港より全日空のジェット機エアバス320型機（166席）とボーイング737-800型機（176席）が約55分で結んでいます。また、東京愛ランドシャトルが八丈島を基地にして青ヶ島、御蔵島、三宅島、利島、大島とアクセスしています（毎日就航）。海路は、東海汽船の大型客船「さるびあ丸」または「かめりあ丸」が東京・竹芝桟橋から毎日就航しています。竹芝を夜に出発し、三宅島・御蔵島を経由して約11時間で八丈島に到着します。

By the air route, Hachijo island, can be arrived from Tokyo Haneda Airport within 55 minutes boarding either on ANA airbus A320 (166seats) or Boeing 737-800 (176seats). Also, the access to Hachijo's neighboring islands, Aogashima, Mikurajima, Miyakejima, Toshima, and Oshima, is provided every day by the Tokyo Island Shuttle helicopter. By the sea route, the Tokai Kisen Ferry, Sarubia-maru or Kameria-maru sails daily from the Takeshiba passenger terminal in Tokyo. Departing from Takeshiba, the ferry takes 11 hours to get to Hachijo, calling at Miyakejima and Mikurajima on the mid-way to the island.

八丈島海路の沿革

1910 (明治 43 年)	東京湾汽船会社と八丈島有志代表浮田鉄吉氏、山田喜代吉氏が毎月1回以上の航海契約を結ぶ (芙蓉丸 96 トン)
1922 (大正 11 年) 5 月	八丈丸 (345 トン) 三宅島・八丈島就航
1925 (大正 14 年) 4 月	八丈丸、三根沖で暴風雨のため遭難沈没 (船員 13 名死亡)
1926 (昭和元年) 4 月	三宅島・八丈島、東京府知事の命令航路となる
1930 (昭和 5 年) 10 月	東京から八丈島寄港、小笠原父島・母島に至る定期航路開始。主として桐丸 (531 トン) が就航
1941 (昭和 16 年)	戦時下、桐丸の月 6 回の就航が萩丸月 3 回の就航になる
1945 (昭和 20 年)	戦時下、4 月 16 日東光丸撃沈される (約 120 名死亡)
1947 (昭和 22 年) 6 月	黒潮丸 (496 トン) 東京-八丈島間就航
1948 (昭和 23 年) 3 月	第 3 旭丸、八丈島藍ヶ江港で遭難
1957 (昭和 32 年)	東海汽船八丈島代理店を直営に切り替え、八丈島支店を設置
1965 (昭和 40 年) 8 月	神湊港底土岸壁完成、年間通して約 90% の接岸が可能となる
1968 (昭和 43 年) 10 月	貨物船弥栄丸 (330 トン) 三宅島・八丈島間に就航
1971 (昭和 46 年) 6 月	ふりいじあ丸 (2,286 トン) が就航
1978 (昭和 53 年) 4 月	すこれちあ丸 (3,708 トン) が就航
1983 (昭和 58 年) 3 月	ふじしま丸 (149 トン) 八重根港入港
2002 (平成 14 年) 5 月	さるびあ丸就航
2012 (平成 24 年) 2 月	八重根港新船客待合所供用開始

八丈島空港の沿革

1953 (昭和 28 年)	青木航空就航 (不定期)
1954 (昭和 29 年) 5 月	飛行場開設、青木航空セスナ機就航
1955 (昭和 30 年) 4 月	日本ヘリコプター輸送 (株) の双発機 (11 人乗) 週 2 回就航
1956 (昭和 31 年)	青木航空が日本遊覧航空と社名変更 日本ヘリコプター輸送 (株) の双発機 (11 人乗) 週 4 回就航
1957 (昭和 32 年) 12 月	日本ヘリコプター輸送 (株) が全日本空輸 (株) と社名変更
1958 (昭和 33 年) 12 月	八丈島空港 (第 3 種空港) 設置許可
1959 (昭和 34 年)	日本遊覧航空のヘロン機 (15 人乗) が就航するようになり、初めて客室乗務員が乗るようになる
1960 (昭和 35 年) 6 月	全日空 DC-3 型機 (30 人乗) 週 2 回就航 日本遊覧航空のヘロン機が名古屋へ就航
1961 (昭和 36 年)	日本遊覧航空が藤田航空と社名変更
1962 (昭和 37 年) 5 月	八丈島空港供用開始
1963 (昭和 38 年) 8 月	藤田航空ヘロン機、八丈富士に激突 19 名死亡
11 月	藤田航空、全日空と合併し、八丈空路は全日空の運行となり、フレンドシップ機 (40 人乗) 就航
1969 (昭和 44 年) 4 月	YS-11 型機 (64 人乗) 就航
1972 (昭和 47 年) 6 月	滑走路延長 1,200 m から 1,500 m へ供用開始
1973 (昭和 48 年) 3 月	名古屋定期路線開始
1975 (昭和 50 年) 12 月	第 2 次拡張計画決定
1982 (昭和 57 年) 4 月	滑走路 1,800 m × 45 m 供用開始 B737 型機 (126 人乗) 就航、ターミナルビル供用開始
1985 (昭和 60 年) 5 月	エアーニッポンに YS-11 型機路線移管 11 月 30 日をもって名古屋定期路線休航
1988 (昭和 63 年) 4 月	エアーニッポンに B737 型機路線移管
1989 (平成元年) 8 月	ヘリコプター第 1 回試験運行 (8/12 ~ 8/19) 7 月 八丈島-東京間のジェット化促進
1993 (平成 5 年) 7 月	ヘリコプター運航管理事務所及び格納庫完成
8 月	ヘリコプター運航開始
2000 (平成 12 年) 7 月	B737-400 型機 (170 人乗) 就航
2004 (平成 16 年) 10 月	滑走路 2,000 m 供用開始
2005 (平成 17 年) 10 月	エアバス 320 型機 (166 人乗) 就航
10 月	大島経由便運行
2009 (平成 21 年) 10 月	大島経由便廃止
2012 (平成 24 年) 10 月	B737-800 型機 (176 人乗) 就航

町のシンボル



この紋章は「躍進八丈」の意義を表現しています。八丈の文字をそのまま鳥形に意匠することにより、八丈が希求する永遠の平和と未来永劫やむなき進展とを象徴したものです。
(昭和32年10月制定)

This emblem symbolizes the rapid development of Hachijo. Arranging the characters for Hachijo into the shape of a bird expresses the desire for both everlasting peace and continuous development of the town. (design adopted October 1957)

町の鳥／アカコッコ

日本特有の美しいツグミの一種で伊豆七島と屋久島だけに生息します。翼長平均12センチほどのかわいらしい小鳥で、広葉樹林などに巣を作り昆虫、木の実などを好んで食べます。

TOWN BIRD / Akakokko

A type of thrush indigenous to Japan, it lives only on the Izu island and Yakushima. It is a small, pretty bird with an average wingspan of 12cm; it nests in broad-leaved trees and eats insects, fruits, and berries.

町の花／ストレチア

南アフリカ喜望峰が原産地で、学名をストレチア・レギネといいます。ばしょう科に属し、花は葉のつけねから極めて優美華麗な長い花茎を出し、その花の形から“極楽鳥”を連想します。

TOWN FLOWER / Strelitzia Reginae

Originating around South Africa's Cape of Good Hope, it belongs to the plantain family. From the axil it puts out a long-stemmed flower of graceful, splendid, the shape of which gives us its common "bird of paradise".

町の木／フェニックス・ロベレニー

和名は“しんのうやし”で、原産はインドシナ。八丈島では大正5年に雌雄2本を移入したのがはじめて、太平洋戦争で一時的に中断しましたが、戦後、花き園芸が復興するなかで、文字通り「不死鳥」のようによみがえり、世界でも有数の栽培地となりました。

TOWN TREE / Phoenix roebelenii O' Brien

Known in Japan by the name SHINNO YASHI, the tree itself originated in Indochina. Cultivation on Hachijo-jima began in 1916 with the introduction of a pair of male and female trees. Production was interrupted by WWII, but the postwar revival of the floriculture industry saw cultivation of phoenix roebelenii reborn, like the name of the phoenix itself. Hachijo-jima is now one of the world's leading producers of Phoenix roebelenii.

町の魚／ハルトビ

八丈島のハルトビ漁は、明治時代から盛んに行われ、羽根のあるおめでたい魚として店頭を飾ったものです。ハルトビは鮮魚のほか、塩干し、くさや、燻製などに加工され、土産品として珍重されています。春先になると、産卵のため伊豆諸島南方から島伝いに北上することから、別名「春告魚」ともいわれ、八丈島周辺への回遊が最も多く、漁獲高でも八丈島漁業の重要な地位を占めていました。

TOWN FISH / Harutobi (Flying Fish)

Popular since the Meiji Era, Hachijo HARUTOBI adorned shop counters as a fish for auspicious occasion. Aside from being used fresh, it is also dried and smoked, being especially prized as a souvenir. Its popular name "Harbinger of spring", comes from the fact that every year in early spring the fish migrate northwards through the Izu islands in order to spawn. The fish is most prevalent around Hachijo-jima, and it occupies a dominant place in the local fishing industry.



交流

ISLAND FRIENDSHIP TIES

姉妹都市

ハワイ・マウイ郡

昭和39年8月10日マウイ島において姉妹都市提携の調印が行われました。以来、今日まで双方の交流が盛んに行われています。



姉妹島

沖縄県南大東島

八丈島民が開拓に成功した南大東島と昭和57年1月23日に姉妹島提携を結びました。1月23日は八丈島からの開拓者が上陸の一步を印した記念日です。



友好都市

東京都小笠原村

小笠原諸島返還記念日の昭和63年6月26日に八丈町と小笠原村とが友好都市提携を結びました。また、毎年6月には八丈町からの小笠原親善訪問も行われています。



平成25年八丈町成人祝賀式



主なできごと 2013

HEAD LINE 2013

1月 4日	八丈町消防団出初式
5日	成人祝賀式
8日	第32回八丈島パブリックロードレース
27日	第24回八丈島文化フェスティバル
2月 16日	八丈町立末吉小学校閉校式典
3月 23日・24日	第23回八丈島産業祭
20日～4月 7日	第47回フリージアまつり
5月 7日	八丈町新庁舎移転・業務開始
11日	八丈町新庁舎落成式
6月 2日	クリーンデー
20日～25日	小笠原親善訪問
7月 21日	衆議院議員選挙
23日～25日	第41回八丈島夏まつり（ミス八丈島発表会）
8月 1日	多目的ホール「おじゃれ」一般供用開始
3日・4日	愛らんどリーグ 2013 サッカー大会 in 八丈島
5日	第17回八丈島浜遊び
11日	八丈島納涼花火大会
18日	團伊玖磨記念 八丈島サマーコンサート（こけら落とし公演）
31日	八丈島地熱館リニューアルオープン
9月 7日・8日	タコスカップ 2013
8日	スポーツ祭東京 ふれあいフットサル
9月 29日～10月 2日	スポーツ祭東京 高等学校野球（軟式）
10月 5日	八丈町防災訓練（末吉）
13日	第52回町民体育大会（各地域）
16日	台風26号伊豆諸島を襲う（大島で土石流による甚大な被害）
11月 13日	八丈町表彰式
12月 1日	第17回八丈島高齢者演芸大会



ミス八丈島



末吉小学校閉校式



新庁舎落成式



地熱館オープニングセレモニー



スポーツ祭東京

八丈島 三つの始祖伝説

八丈島には系統を異にする三種の始祖伝説がある。八十八重姫伝説は、出雲系神話の類型で北方から伝来した内地系文化に属する。徐福伝説は西方から黒潮に乗った大陸系文化が流入したものである。丹那婆伝説は、西太平洋の諸族に広く認められる母子交会の始祖伝説の一類型で南方系文化に脈絡が認められる。一つの島に内地形、大陸系、南方系の三種類の異なった伝説が存在することは、八丈島の位置に関連する特異な文化形成の礎があったと思われる。

ふるさと村

じよふく 秦の徐福

秦の始皇帝が方術士徐福を東海に遣わし、不老不死の霊薬（仙丹）をもとめさせたという伝説がある。中国人渡来の伝説は古くから八丈島にあったものである。秦始皇帝の命を受けた徐福は、東海の島々を訪ねてまわったが、ついにその霊薬を手に入れることはできなかった。徐福は帰国を断念し、孝靈天皇紀元前219年に紀州熊野に着き、この地で生涯を終わったという。徐福に従って来た童男童女は、船に分乗し熊野から四散してふたたび漂流した。この船の一隻は八丈島に漂着したが、それには五百人の童女が乗っており、青ヶ島に漂着した一隻には五百人の童男が乗っていたという。これにより八丈島を女護島、青ヶ島を男島という伝えている。〈八丈島誌〉

やそやえひめ 八十八重姫

事代主命は三宅島（宮家島）に宮居を定められたがその地で崩じた。妃の一人、八十八重姫は八丈島に渡って古宝丸（許志岐）を生んだ。この二方が八丈島創始の祖であるといわれている。八十八重姫（優婆夷姫ともいう）を祀る優婆夷大明神と古宝丸も祀る宝大明神はともに大賀郷の大里にあり、延喜式に列せられた八丈総鎮守郷社である。〈八丈島誌〉

たなば 丹那婆

この伝説を記録した最初の文献は、享和前後の書と推定せられる綜嶼新話である。「いずれの時にやありし、八丈島に沓潮おこりて民戸とも湮没せしが、一妊婦のみ舟の體にすがりて、大岡郷川口ヶ洞に助命して、一男子を出生し、後に母子交会して類葉繁栄す。」と記してある。現在丹那婆の墓と称されるのは、末吉と大賀郷の二箇所にあるが、もとは三根にもあったようである。〈八丈島誌〉



八丈島誌



丹那婆の墓



大里の玉石垣

町民憲章

TOWN CHARTER OF HACHIJO-MACHI



青い海原に囲まれた緑の島山の美しい自然と、古い歴史に恵まれたわたしたちは、この八丈島に住むことを誇りとし、八丈町の限らない発展と、明るく平和な町づくりをすすめることを願い、町民ひとりひとりの道しるべとして、この町民憲章を定めます。

We, living on the Island of Hachijo, cannot help but feel fortunate in the bounty and beauty of our mountains, fields and sea. Coupled with the long history of our island, this natural legacy has engendered civic pride and a determination to pursue the development of a bright, peaceful community. It is in this spirit that we have formulated a Town Charter for Hachijo-machi. It will, we trust, serve as a reminder of our community's goals.

わたしたち八丈町民は

- 郷土を愛し、環境をととのえ、みどり豊かな町をつくりましょう。
- お年寄りを大切に、子供たちが健やかに育つ、あたたかい町をつくりましょう。
- 伝統をとらとび、教養を深め、文化の香り高い町をつくりましょう。
- はたらくことを喜び、産業の発展につくし、いきいきとした町をつくりましょう。
- きまりを守り、互いに助け合い、人情味あふれる明るい町をつくりましょう。

We the people of Hachijo-machi

- *Will strive to create a verdant community by respecting our heritage and preserving the natural environment.*
- *Will strive to create human community by caring for the elderly and rearing healthy children.*
- *Will strive to create flourishing community by maintaining our traditions and widening our cultural horizons.*
- *Will strive to create stimulating community by finding satisfaction in our work and pursuing new opportunities.*
- *Will strive to create heartwarming community by meeting our responsibilities and readily lending assistance.*

東京都八丈町勢要覧 「はちじょう2013」

平成26年3月 印刷・発行

編集・発行

八丈町企画財政課企画情報係

東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2

電話 04996-2-1120

URL <http://www.town.hachijo.tokyo.jp/>

印刷

社会福祉法人 東京コロニー
東京都大田福祉工場

東京都大田区大森西2-22-26

電話 03-3762-7611(代)

